

会報

全員積極参加でロータリーを楽しもう!



2012.08.08. 第1024回例会 No.23-06 2012.08.22発行

司会 SAA・親睦委員会 海野 榮一
 点鐘 会長 澄川 昇
 ロータリーソング「それこそロータリー」

お客様紹介 ソングリーダー 菊池 敏
 会長 澄川 昇
 多摩東グループガバナー補佐 千葉 孝良様
 " グループ幹事 田村 重己様

堤会員ご家族 ジュンバイ君
 会務報告 会長 澄川 昇

- 8月1日定例理事会の議決事項を報告します。
1. クラブ細則のミスプリを修正。詳細は会報に記載。
 * 細則 14 頁末尾、第2条の次、**役員の仕事** の頭、第3条が脱落しており、これを**第3条**とする。
 * 15 頁末尾、**第3条**会合は**第4条**とする。以上により**第4条** 欠番が解消される。
 2. ICU 東ヶ崎潔記念ダイアログハウス建設資金寄付要請については、今年度は会員個人寄付とする。
 3. 「TAMA CINEMA FORUM」の第22回映画祭に協賛金1万円を拠出する。
 4. 奉仕プロジェクト「障がい者テニス」の実施案と予算を承認。詳細は後日発表。

幹事報告 幹事 荒瀧 義機
 * 配布資料: 本日のクラブ協議会資料
 * 回覧: ガバナー月信8月号・福島子供サポートProj報告
 * その他報告
 ・品川RCからカホシア小中学校教師育成支援プロジェクトの参加要請あり
 ・今年度RLIの案内あり
 ・地区新会員リインテグレーション案内あり

【委員会報告】

出席報告 出席奨励委員長 吉沢 洋景
 会員総数 34名
 出席義務者数 24名
 出席義務免除者 10名

出席者数 出席義務者(事前MU2名) 19名
 出席義務免除者 8名
 計 27名

出席率 27/32 = 84.38%

第1022回例会(7/25)訂正出席率 81.25%

ニコニコBOX SAA・親睦委員会 菊池 敏

ガバナー補佐千葉孝良様・グループ幹事田村重己様
 クラブ協議会よりお願いします。

岡山西南 RC 富士見での2日間、大松さん海野さん
 椎原裕二様 出席の皆様楽しい2日間ありがとうございました。感謝です。またゴルフでも楽しませてもらってありがとうございました。今日は残念ながら出席できません、8月いっぱいまで岡山です。

澄川 昇・荒瀧義機・遠藤二郎・大松誠二・萩生田政由
 伊澤ケイ子・菊池 敏・宮本 誠・中谷綾子・津守弘範
 海野榮一 ガバナー補佐・グループ幹事、本日はようこそいらっしゃいました。よろしくお願ひ致します。

足立潤三郎 ガバナー補佐千葉様 グループ幹事
 田村様ようこそお越しいただきました。富士見高原ゴルフコンペ&長野・山梨バス観光ご一行様、お疲れ様でした。
 小泉 博 千葉ガバナー補佐 田村グループ幹事
 ようこそいらっしゃいました。よろしくお願ひします。富士見参加できず残念でした。おみやげありがとう。

村上 久 ガバナー補佐ようこそ。
 村田亮太 金をめざせ 東洋大OBより
 入沢 修自 クラブ協議会どのようなものか勉強。

関岡 俊二 アンコール小児病院支援によるしく。
 齋藤 誠壽 先日の富士見ロータリーの旅行はとても楽しかったです。

堤 香苗 お客様ようこそ。本日無事に会社の13回目の創立記念日をむかえられます。これも皆様のおかげです。

本日の合計¥ 40,000 (累計¥148,000)

その他委員会

富士見RCとの友好関係維持プロジェクトについて 実施委員長 伊澤ケイ子

8月5・6の2日間、ゴルフ同好会の企画に便乗して富士見高原方面に行きました。ゴルフ組と観光組、合計18名参加の盛況で、富士見RCからゴルフ4名の参加、富士見RC会員経営の料亭での懇親会には先方より店主を含め11名の参加を得て盛り上りました。当プロジェクトは5年目ですが、今回、友好関係が着実に確認できた想いです。

多摩東グループ野球・ゴルフ幹事会報告

ゴルフ同好会部長 小泉 博

7月10日、多摩東グループ野球・ゴルフ幹事会があった。第1回親睦ゴルフ大会は団体戦で10月16日、第2回は来年4月26日に個人戦として予定。親睦野球大会は9月6日に府中市健康センターで開催です。

福島の子どもサポートプロジェクト報告 堤 香苗会員

先週募金をお願いした件、多摩グリーンRCとしては20,300円を振込みました。第1弾キャンプは先週末に実施、第2弾は13日からの予定。まとめて20日以降に報告します。

ロタキッド夏季合宿 ロタキッド副委員長 宮本 誠

20・21・22日、八ヶ岳少年自然の家で合宿をします。先日の富士見RCとのプロジェクトで歩いた辺りをハイキング等しながらも、ハードな合唱合宿です。富士見RCの方が覗いてくれる話もあり、張切っています。おやつ代など応援を宜しく。

30200円ご協力頂きました。大変ありがとうございます。

【クラブ協議会】 司会 幹事 荒瀬 義機

開会

会長 澄川 昇

協議進行

プロジェクト統括委員長 萩生田政由

本年度は企画会議で提案された案から、継続を含め7プロジェクトが選択され、立案委員会により実施の大筋が立案され理事会決定されています。本日はそのうちの1つ「カボジア小児病院支援プロジェクト」がテーマです。

*これまでの経過と本年の方針説明

本プロジェクト実施委員長 関岡 俊二

プロジェクトのきっかけは、前々年度の卓話。曹洞宗の関係筋より卓話者の紹介をして頂きました。赤尾和美さんというカボジアのアソール小児病院の看護師でした。庶民の生活の貧困と惨状、病院の困難な実状など聴きましたが、そんな中での自身の奉仕ぶりについては、何の苦勞の気配もなく、むしろ楽しんでおられるかの如くで感動的でした。彼女は、赤尾会員の姪御さんでもあります。そんな経緯から昨年度このプロジェクトが始まり、支援窓口であるNPO法人「フレンズ・ウイザウト・ア・ボーダー・ジャパン」と代表者でもある赤尾さんに直接会って、いろいろ相談しました。高額な医療器械、気候条件や技術環境に合わない機器、単なる金銭支援では消費されてしまう等々の話の結果、子供たち自身への贈物として遊具を贈ることになり、20点の遊具を贈りました。そして感謝の手紙と、このように子供たちの笑顔が送られて来ました(プロジェクトにより紹介)。いずれ遊具の修復・補充等の必要が生ずるとしても当面は同様の活動は控え、我々個々人が「フレンズ・ウイザウト・ア・ボーダー・ジャパン」の会員になることで支援活動とする、クラブとしては個人会員を募るキャンペーンをもって奉仕活動とするというのが本年度の方針。正会員が年に1口12000円、賛助会員6000円。6000円で入院患者と家族の食事が1週間賄える、又は3人の子供の治療が出来ます。病院を設立したのは井津建郎という日本人がらマンです。アソールワットの写真で有名な方で、仕事で恩恵を受けているカボジアに恩返し、の気持で活動をされたのです。以上を踏まえ今年度のプロジェクト実施について、質問や意見をお願いします。

* 齋藤会員：会員を募るのは良い方法と考えるが、現地には多種多様な疾病の発生があり、それを抑制するような活動もあり得る。重要なことは、現地の真のニーズを確認することで、実際に現地に赴いて、この目で見るということ、委員長にはそのような音頭とりもお願いしたい。

* 関岡委員長：確かにニーズの把握が重要で、ツアーを企画して現地視察も可能かと考える。齋藤会員には仕事柄、義肢義足製作の指導員派遣の意向なども頂いている。

* 海野会員：現地のニーズと我々に出来ることのギャップを感

じている。現地の真のニーズは、ある程度大掛かりな医療装置であったりするが我々には財政的限度もあり、昨年は遊具の寄贈程度となった。フレンズ・ウイザウト・ア・ボーダーとの、より緊密な関係の中での可能性は如何か？

このNPO法人について、もう少し知りたい所です。

* 関岡委員長：会員にはニューズレターが届き、現地の様子が判ります。正会員は総会出席できるとか、どんどん情報が入ってきます。是非会員になって下さい。設立の経緯は先ほど説明した通りです。

* 宮本会員：会員が、それを続け易い仕組みの工夫も欲しい。月々少々の自動振替の約束をする口座をクラブとして設置するとか、知らぬ間に溜まって、纏めてクラブ名で寄付する。意識としては個人だが、先方にはクラブとして認識される。それもローリーの広報として相応しいことである。

* 委員長：今後委員会として検討できると思います。

ガバナー補佐ご挨拶・講評 千葉孝良ガバナー補佐

ガバナー補佐としてグループ10クラブの活動計画書をつぶさに見ましたが、当クラブの手法は大変ユニークで好いと思います。それは、立案委員会なるものがあって機能していること、他のクラブにはないものです。今日のテーマは、そこで検討され提起されたものであるとのこと。このような活動で、重要なことは齋藤会員の意見の通り、現地のニーズを如何に捉えるかという事です。昨年の大震災においても現地のニーズは刻々と変化しました。又こういうプロジェクトは必ずしも単独でなくグループ全体に呼びかけるとか、マッチンググラントを活用するなど如何でしょうか。マッチンググラントも以前よりかなり楽になりました。次年度からは「ロータリーの夢計画」でグローバル補助金という制度に変わります。是非チャレンジして長続きさせ実効をあげて頂きたい。活動計画書で感じたことがもう一つあります。それは直前会長が前年度活動の総括をやっておられることです。これはプロジェクトの継続ということを検討する際に、重要なことであると思います。先ほどの立案委員会同様、グループ内で初めて見ることで、大変良いやりかただと思います。話は変わりますが、富士見とお聴きして大変懐かしく感じています。というのは富士見には中学時代の恩師が住んでおられて、入笠山にも何度も登っています。小学校で合宿して八ヶ岳縦走したこともあります。懐かしいところです。

田村 重己グループ幹事 ご挨拶

狛江ロータリーの田村と申します。1年間ガバナー補佐を扶けてグループのために頑張りますので、宜しくお願い致します。



協議会閉会とお礼と点鐘

会長 澄川 昇

ガバナー補佐・グループ幹事、大変ありがとうございました。ガバナー補佐の講評では、当クラブがいち早くCLPを取り入れたことによって、特別な印象を得ていただいたものと、嬉しく思いました。

(今週の担当：宮本 誠)